

代表質問

代表質問とは？

市の様々な課題等について、議員が会派を代表し、市長や理事者に考えを聞くものです。毎年12月定例会にて、3名以上の議員が所属する会派が質問します。



ページ	会派	質問者	質問内容	日程
11	さばえ結の会	三村 尚司	1.1 期目振り返り 2. 令和7年度の当初予算編成について 3. 公共施設等総合管理計画について 4. 西山公園を中心にしたまちづくりについて 5. 観光政策について	12/9 午前
12	市民創世会	石川 修	1. アメリカ大統領選挙と衆議院議員選挙について 2. 施策の継続と廃止について 3. 産業支援について 4. 市民生活について 5. 北陸新幹線について 6. 治水対策について 7. 嚮陽会館整備について 8. 教育行政について 9. 所得税非課税枠拡大について	
	新清風会	末本 幸夫	1. 人口減少について 2. 少子高齢化について 3. まちづくりについて	12/9 午後

※質問内容のうち、青字で下線が引かれたタイトルは、以下に詳細を掲載しています。



みむら しょうじ
三村 尚司〔さばえ結の会〕



副市長2人体制の効果は

問 副市長2人体制についての議論は、議会を二分するものであった。令和6年4月から副市長を2人体制にして、まだ8か月ではあるが、2人体制にした効果は出ているのか。

答 市長 精力的に市民・企業など様々な方々の声に耳を傾けるとともに、職員とのきめ細やかなコミュニケーションを図りつつ、ハピラインふくい鯖江駅の活用方法や嚮陽会館の複合施設化、神明苑の在り方検討、まちづくり協議会設置に向けた準備会議の開催、DXの推進、こどもの権利条例の制定などに当たってもらっている。

市庁舎の建て替えについて

問 今後、嚮陽会館をはじめ、神明苑、学校、公民館などの公共施設の大規模改修が予定されているが、事業費等の高騰が避けて通れない状況のため、現在の公共施設等総合管理計画を見直す必要が出てくるかもしれない。市庁舎もそろそろ耐用年数を迎えるが、庁舎の建て替えには、事業費や財源確保だけでなく、建て替え場所の問

題などについて、時間をかけた議論の場が必要になると思われる。市庁舎の建て替えについて、いつ頃から議論を始めていくのか。

答 市長 現在の市庁舎は、昭和38年に本館を建築し、62年が経過している。平成26年には耐震改修工事が完了し、計画的な保全に取り組みながら、目標使用年数と設定している80年をめどに、長寿命化に取り組んでいる。市庁舎の建て替えについては、県内自治体の状況を見ても、計画段階から整備期間を含めるとおおむね10年程度の期間を要しているため、本市の場合も同程度の期間が必要になると予想される。庁舎整備に向けて、将来的な財政見通しを考慮することはもちろん、市民の皆様の理解や意見の反映を十分に行うなど、相当の時間をかけて整備計画を策定していくことが大切だと考える。まずは内部協議を始めたところであるが、庁舎建て替えの時期については、令和8年度に予定している公共施設等総合管理計画の見直しに合わせてお示しできるよう検討を進める。

